



看護師の仕事を通して 地域の人の役に立ちたい

2 中学生の時に優しくしてくれた看護師さんに憧れて、この道を目指しました。祖母が入院した際には、自分も近くで何かできたらと、さらに思いを強くしました。この病院を選んだのは先輩や同期がいたこともありますし、面接時に看護部長が優しくかったので、一緒に働きたいと思いました。

係 私は小学生の頃から漠然と看護師になるうと考えていました。ドラマの影響も大きかったと思いますが、親も後押ししてくれたので、看護師に向けて一直線という感じでした。地元に戻ってきたかったので遠軽厚生病院を選び、今年で16年目になります。その間に3人の子どもの産休・育休を取得しましたが、職場の方たちも温かく受け入れてくれましたので、ほかの病院に移りたいと考えたことはありませんでした。

管 私は幼稚園や保育所、学校の先生など、人に関わる仕事に興味があり、その1つが看護師でした。近所に看護学校に通う方がいて、人の役に立つことの大変さとともにすごくやりがいがあるなど、実習での具体的な体験を聞いて、この仕事に惹かれました。看護学生の時に遠軽厚生病院で実習を行いました。印象が良かった

ので、ここに来ることを前提に学生生活を過ごしました。

患者さんの「ありがとう」が 日々のやりがいに繋がる

2 私は外科勤務ですが、術後の患者さんが歩けるようになったり食事が始まるなど、回復していく姿を見ると嬉しくなります。また、患者さんから「ありがとう」という言葉をいただくと、1年目の頃に比べて少しはできるようになったのかなと思い、やりがいを感じます。今年から私にも後輩ができて指導する立場になりました。先輩たちのようにきちんと出来ているかは分かりませんが、少しずつでも後輩に聞かれたことに答えられることが増えていると思いますので、頼ってもらえるのは嬉しいです。

係 私も同じです。以前、外来勤務もしていましたので、顔見知りになったり名前を覚えてくださる患者さんも多くて。「今日いてくれて良かった」と言っていただけるのは嬉しいです。町中でも会えばお互いに声をかけるなど患者さんとの距離も近く、そのたびに地元に戻ってきて良かったと感じます。

管 そうですね。入退院を繰り返す高齢の患者さんも多いので、看護の現場から離れた今

遠軽厚生病院の3名にキイテミタ!



キビキビ頼もしい

管 管理科長さん



気配り上手な

係 係長さん



ほんわかした

2 2年目さん

も、来院された患者さんやご家族に声をかけていただいたり、感謝のお言葉をいただくのはありがたいですね。さらに若い看護師たちが、患者さんとの触れ合いをやりがいと思っていることも嬉しく感じます。

係 楽しく働いてほしいという気持ちがありますので、分からないことは一緒に調べたり取り組んだり、看護師一人ひとりに合わせたやり方・言い方を考えながら指導しています。

管 なるべくいいところを褒めてあげたり、出来ていることをフィードバックするという姿勢は病院全体で掲げています。以前は看護科長として自分の病棟の運営に取り組んでいましたが、立場が変わって客観的に全体を見ると、自分では一生懸命やっていたつもりでも、足りない点やダメな部分に気付かれます。そうした点はきちんと振り返って反省し、病棟の科長や係長に伝えながら、いい方向に向かえるように一緒に取り組んでいます。

他部署と連携しながら 課題解決の方法を探る

管 看護の現場においてはここ数年、患者さんの意思決定支援に力を入れています。患者さんが病気を抱えながら自分の人生をどこでどう過ごしたいかを聞き取り、できる限りのお手

伝いをすることを目標に挙げています。そのため各部署の係長たちが中心となって実際の取り組み事例を発表し、そこで共有した情報を現場にフィードバックしています。

係 この地域は高齢者世帯が非常に多く、ほとんどの方が入院中も退院後も住み慣れた家に帰りたく強く希望されます。つい先日も自分の病棟で、亡くなる前に1度ご自宅に帰りたく希望される患者さんがいらっしゃいました。ご家族もご本人の意思を尊重してあげたいと仰いましたが、恐らく動けるのはあと数日だろうという状況で。その中で外泊に向けて各部署と連携を図り、迅速かつ詳細に打ち合わせを進めました。

2 私にとっても、受け持ちの患者さんの意思とご家族の思いをどううまく汲み取って、どう介入していったらいいのが課題です。どちらの思いもできるだけ尊重しながらご希望を叶えてあげたいのですが、例えば大腸がんなどでストーマ(人工肛門)になった高齢の方がご自身でストーマケアをするのが難しい場合、ご帰宅にはご本人だけでなく、ご家族や周りの方の力が必要になります。

管 そうですね。治療だけでなく日常生活にも介助が必要な方が多いのはこの地域の特性でもありますし、そこにはやはり人手が必要だと日々感じています。患者さんを支えるためには、地域の訪問看護や関連施設、ケアマネージャーの方たちの力も欠かせません。お互いにしっかりと連携を図り、なるべくご本人が望むところに帰れるようにお手伝いをしていきたいと思っています。

私たちと一緒に 働きませんか?

JA北海道厚生連は看護師・助産師を募集しています。
看護の楽しさ・看護の魅力を実感しながら、
私たちと一緒に働きませんか?

アットホームな雰囲気 楽しく働ける現場

2 現場では大変なことも多いですが、私は仕事がとても楽しくて毎日充実しています。先輩方の優しい指導や同期とともに成長できる環境があるから自分も頑張れますし、もっと多くのことを学びたいと思っています。

係 遠軽町は自然豊かで、生活に必要なものが凝縮しています。職員参加のパーティなど楽しい催しも多く、他部署や他職種との距離も近く、関係性が良いと思います。私はずっとこの病院にいたので当たり前だと思っていましたが、ほかの病院に移ったスタッフたちからは、本当に楽しかったという声をよく聞きます。

管 働きやすい環境づくりはもちろん、看護師の教育にも力を入れていて、キャリア形成という点では、やりたいことを応援していくスタンスです。経験のあるなしに関わらず、頑張る気持ちがあれば誰でも働けます。新卒や中途採用、時短勤務など、働き方もさまざまです。自信がなくてもどうにかりますし、どうにかするので大丈夫です。人としても看護師としても成長していける環境は整っていますので、ぜひ一緒に働きましょう。

質問シテミタ Nurse question

遠軽厚生病院の場合

**Q. 保健師・助産師・看護師・
准看護師さんは何人いるの?**

177人

※4/1時点の有資格者人数

Q. 男女の人数は? ※4/1時点の人数

男性 12人 | 女性 165人

Q. 平均年齢は何歳? ※4/1時点の年齢

40.5歳

Q. 休暇はどれくらいありますか?

年間約 120日

※そのほか有給休暇もあります。

看護師採用サイトは
こちらから



奨学金制度の詳細は
こちらから



看護職の資格
取得予定の
学生の方へ